

※赤字部分は特に注意してください。

入稿データについて

奈良新聞社では入稿データを開くことはしません。
データが正しく作成されているか、下記の項目を必ずチェック・確認をしてください。
紙面で使用するデータはIllustratorで全てのフォントをアウトライン化したデータです。※Officeのデータ、PDFデータは不可。

入稿は校了日の3日前
厳守をお願いいたします

入稿データの作成について

画像

- 画像は、CMYKまたはグレースケールを使用してください。※2階調は不可。
- 画像のサイズは実寸で、CMYK・グレースケール=解像度250~300dpi程度にしてください。
- インキの総使用量 (UCR値) は250%以下にしてください。**
- 画像はEPSで保存してください。※保存形式→エンコーディング→JPEG (最高画質低圧縮率) で保存してください。

Illustratorの設定

- カラーモードは、CMYKにしてください。
- オブジェクトの使用色は、CMYK・グレースケールのみにしてください。
※スウォッチ内の特色は、CMYKに変換してください。
- インキの総使用量 (UCR値) は、250%以下にしてください。**
- ドロップシャドウなど特殊効果を使用している場合は、メニュー「効果」→「ドキュメントのラスターライズ効果設定」を300ppiに設定してください。
- 透明効果を使用している場合は、メニュー「ファイル」→「ドキュメント設定」→「プリセット」を高解像度に設定してください。
- 広告の領域が分かるように、広告サイズで囲み罫を付けてください。
- 不要なオブジェクト・レイヤーは作成しないでください。
- 原稿領域外にオブジェクトを出さないでください。**トンボ(トリムマーク)は不要です。**

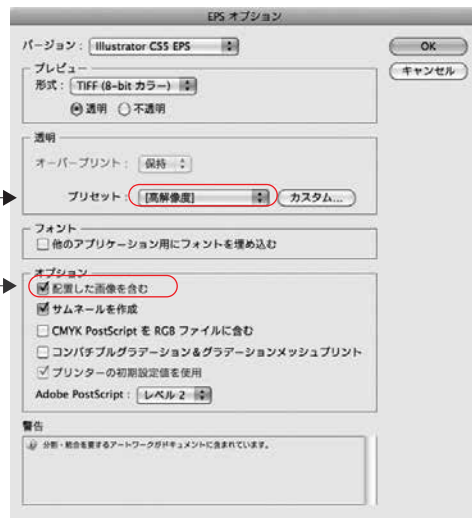
注意点

- オーバープリント処理はアプリケーションの設定が反映されます。
- メニュー「オブジェクト」→「透明部分を分割・統合」の処理はしないでください。
※画像に白いラインが入る場合があります。
- データを再現するための最低ラインの目安は、線=0.3pt、文字=5ptになります。
※オブジェクトが細かすぎると、出力時に消えてしまう場合があります。
- 複雑な図形や特殊効果などの多用はしないでください。
※予期せぬエラーの原因になります。

入稿時

- 使用フォントは、すべてアウトライン化してください。**
- Illustratorに配置の画像は、「埋め込み」にしてください。**
- レイヤーは統合してください。
- 透明機能を使用している場合、保存時のダイアログ→透明→プリセット
設定は高解像度にしてください。
- IllustratorはEPS CS5で保存してください。**
※配置した画像を含むに必ずチェックを入れて保存してください。
- Illustratorのファイル名およびフォルダ名はその広告内容がわかる名称にしてください。
- 原稿に使用した全ファイル (Illustratorデータと画像データ) を入稿してください。
- データをCDなどのメディアで入稿の場合は、最終保存時の出力紙を添付してください。
- データをメールで入稿の場合は、最終保存時のPDFを添付してください。
- 媒体名、エリア、掲載日、広告主名、サイズ、刷色 (カラー・モノクロ) を記載したものを添付してください。

CS5の設定ウィンドウ



奈良新聞 原稿サイズ

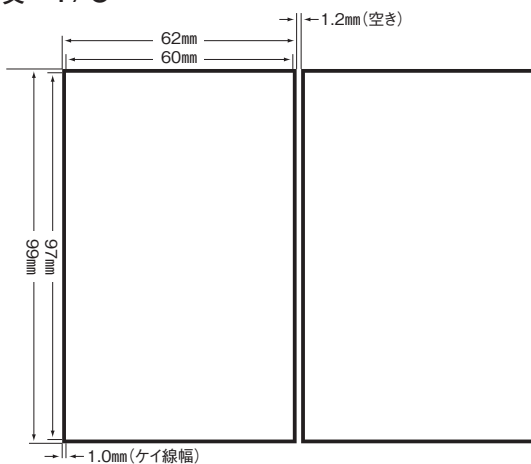
天 地 (mm)	
1段	32
2段	66
3段	99
4段	134
5段	168
6段	202
7段	237
8段	271
9段	305
10段	340
11段	374
12段	410
13段	443
14段	477
15段	512

左 右 (mm)	
1/5	74
1/4	93
1/3	124
1/2	188
全	378

	天地	左右
記 事 中	【 3 9 × 5 3 】	
突 出 し	【 6 5 × 5 2 】	
題 字 下	【 3 1 × 6 7 】	
題字下エントツ	【 2 5 2 × 6 7 】	
全15段(ケイナシ)	【 5 1 4 × 3 8 4 】	
連 版(ケイナシ)	【 5 1 4 × 7 8 9 】	
連 版(ケイアリ)	【 5 1 2 × 7 8 2 】	

出版

◆3段×1/6



◆3段×1/8

